

令和6年度 第7回市政懇談会 事前要望等回答一覧（行田地区）

No.	意見・要望等	所管課	回 答
1	日本遺産はどのように展開されていくのか。市民や蔵の所有者に情報提供されるのか。	文化財保護課	日本遺産につきましては昨年度認定の継続が認められ、埼玉県唯一の日本遺産を継続したところです。 今後の取組につきましては、文化庁に提出した「日本遺産を通じた地域活性化計画」をもとに各種事業を展開していくところであり、「足袋蔵の有効活用」、「国内外への行田の日本遺産ストーリーの発信と観光客の誘致」や「日本遺産を核としたシビックプライドの醸成」に重点を置き実施してまいりたいと考えております。 そうした中、今年度は文化庁が主催する周知イベントへの参加はもとより、行田花手水イベントに合わせた「足袋蔵のまちを行田足袋で歩いて巡るプレミアムガイドツアー」の実施や、季節ごとの「足袋蔵まち歩きイベント」の開催、能登半島地震復興支援を踏まえた田んぼアートと石川県の日本遺産展示に合わせた行田の日本遺産展示など、観光面での事業を積極的に展開してまいりたいと存じます。また、市民の皆様への意識醸成として、市内小中学校での日本遺産展示や関係授業の実施、幅広い世代で楽しめる日本遺産クイズラリーなども行ってまいります。 日本遺産の取組につきましては、市報ぎょうだや市ホームページ、各種SNS等の媒体を通じてお知らせをしておりますが、今後もあらゆる機会を捉えて市民の皆様へ積極的に周知を図ってまいります。また、蔵の所有者の皆様には、日本遺産イベントへの協力依頼はもとより、幅広い蔵の活用も踏まえ、随時取組に関する情報提供と意見交換を行ってまいりたいと存じます。

No.	意見・要望等	所管課	回 答
2	【防災無線について】 暴風雨時にアナウンスされる防災無線の内容が聞き取れない。夜中の無線に気が付かないこともあるので、どの世代でも防災アナウンスが行き届くシステムを考えて欲しい。	危機管理課	防災行政無線につきまして、ご不便をおかけしており大変申し訳ございません。 防災行政無線は、緊急性の高い情報を市域一斉に伝達できる半面、拡声子局からの距離や方角、風向きなどによって聞き取りづらいというデメリットがございます。また、近年の住宅は気密性が高いことなどから無線の内容が聞き取れないという方もおり、市民の皆様にはご迷惑をおかけしております。 防災行政無線の音量は、ボリュームが大きすぎるとのご意見もあることから、平時には音量を調節し放送しておりますが、大規模自然災害発生時には避難情報等が確実に伝わるよう、最大音量での放送を行うこととしております。 今年度、情報の伝達を迅速かつ確実にするため、防災行政無線操作卓の更新工事を行っており、市公式LINEや安全・安心情報メール、市ホームページと連動した情報発信を実施する予定でございます。 今後も様々な手法による情報発信に努めてまいります。
3	【空き家の問題について】 今年の4月1日から相続登記の義務化が始まったが、相続人による登記がすすみ、空き家は減ってきているのか知りたい。	税務課 建築開発課	近年、所有者がはっきりしない土地建物が増加傾向にあることから、2024年4月から相続登記の義務化が始まりましたが、空き家は全国的に増加傾向でございます。 本市においても同様に増加傾向であると認識しており、現在、令和4年度に改定した行田市空家等対策計画に基づき、各種対策に取り組んでいるところでございます。 なお、相続登記の義務化に伴い、市役所窓口においても相続登記に関する問い合わせは例年と比べ、増えてきています。ただし、相続登記の受付は法務局となりますので、相続登記の必要性を説明した後、管轄のさいたま地方法務局熊谷支局を案内しております。

No.	意見・要望等	所管課	回 答
4	【行田市駅周辺について】 市内観光の出発地なのに、駅北口は草木が伸び見栄えが悪い。歩道の草でベビーカーやシルバーカー使用の人にとっては危ない。定期的に手入れをしてほしい。 南口は観光案内所もレンタサイクルもない。商工センターにある「ぶらっと行田」まで遠い。 南口出発の土日または季節限定の市内循環バスツアーを行ってみる。のぼうの城ツアー、甲斐姫ツアー、食事はヴェールカフェ、親子ツアーもどうか。	道路治水課 商工観光課	行田市駅南口周辺につきましては、路線バスや市内循環バス、タクシーの発着所として利用されているほか、駅周辺には様々な店舗が立地しております。 ご提案の行田市駅南口周辺への観光施設の設置及び観光手段の充実につきましては、効果的な観光拠点を形成するために有効な施策であると認識しておりますので、貴重なご意見として承らせていただきます。 また、本市には、魅力的な観光資源が豊富に点在しており、その観光資源を観光ツアー等で巡ることで、観光誘客及び観光消費額の増加につながるものと存じます。現在、一般社団法人行田おもてなし観光局が「行田観光貸切タクシー」の運行を行っているほか、おもてなし観光局と連携を図り、忍城やヴェールカフェなどの日本遺産構成資産を活用した「体験型観光ツアー」の造成を行っているところでございます。 行田市駅を発着所とする観光ツアーの実施につきましては、行田市駅周辺のみならず本市の活性化につながることから、今後の参考にさせていただきたいと存じます。 なお、道路等除草につきましては、市民の皆様からの要望や道路パトロールで発見をした際、通行及び環境に支障がある場合に行っており、駅北口の除草については、7月23日に依頼したところです。 道路や水路に雑草が繁茂する時期は、毎年、市民の皆様から多くの除草要望が集中するため、除草を実施するまでに不測の日数を要しているのが現状ですが、今後も快適な生活環境確保のため、適正な維持管理に努めてまいりたいと存じます。

No.	意見・要望等	所管課	回 答
5	【道路の改修について】 行田市は色々なことに対して中途半端である。特に道路の改修は疑問に思うものが多い。その地域の方には良いのかもしれないが、市全体を見た時、これで良いのか、みんな途中で終わっているように見える。	道路治水課	生活道路等の整備につきましては、市民の皆様からの要望を受けて、生活道路等整備事業評価制度に基づき、優先度の高い箇所から順次整備しており、また、幹線道路の舗装修繕については、幹線道路舗装修繕計画に基づき整備しているところでございます。 これらの整備につきましては、一定の地域に集中することのないよう、地域間の均衡に配慮しており、また、事業規模によっては複数年での事業実施となる場合もあることから、ご指摘のように途中で終わっているように見えることがあると思います。 今後も、快適な生活環境と安全確保のため、適正な道路整備及び維持管理に努めてまいりたいと存じます。